

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		登録制置場等運営				整理番号	577		枝番号				
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3554		昨年度整理番号	593		
係名					自転車対策係					上位施策名		No	
予算事業名					自転車駐車場等維持運営					コード		56250	
										自転車問題の解決		7	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		60年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則						
	登録制自転車置場等の利用者												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				道路等に暫定的に設置している登録制自転車置場等の運営(利用登録の申請受付・審査、登録証の発行、置場整理員の配置)								
				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 通勤・通学で駅に乗り入れる自転車を登録制自転車置場等に収容し、放置自転車を防止する。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 登録台数				(1) 登録制自転車置場等の設置駅での自転車放置率(置場外自転車台数 ÷ 駅乗り入れ自転車台数)									
(2)				(2)									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
					計画	実績							
指標	活動指標(1)		台	7,449	7,436	3,830	3,675	3,725					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	22.82	22.89		20.30						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	32,183	37,500	17,506	18,388	19,479	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	2,396	8,781	719	1,714	3,344					
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.61	3.76	2.70	3.00	2.70					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	32,790	33,817	24,570	27,300	24,570					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	64,973	71,317	42,076	45,688	44,049					
	単位あたりコスト ÷		円	8,722	9,591	10,986	12,432	11,825					
	財源	受益者負担分		千円	28,038	16,024	13,718	13,832		14,076			
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	28,038	16,024	13,718	13,832		14,076			
差引:一般財源 -		千円	36,935	55,293	28,358	31,856	29,973						
受益者負担比率 ÷		%	43.2	22.5	32.6	30.3	32.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	96.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	105.0					
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			平成16年度、高円寺駅の登録制自転車置場を廃止し、有料制自転車駐車場へ移行した。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、13年度は29,022台、14年度は29,380台、15年度は29,654台、16年度は29,689台である。また、放置自転車台数は、平成4年度には1日平均11,946台であったが8年度には6,181台まで減少した。その後一時上昇に転じたが、平成13年度には9,023台、14年度は8,485台、15年度は7,062台、そして16年度は5,982台と再度減少している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本来、道路である場所を、暫定的に自転車置場として使用しているために歩行者の通行を妨げる。 ・ 街の美観及び環境を損ねる。 ・ 距離及び利用目的による制限を廃止してほしい。
	今後の予測	登録制自転車置場等は本来、道路や公園である場所を暫定的に使用している。このため、有料制自転車駐車場に適した用地や施設の確保ができれば、登録制自転車置場等に替わるものとして、順次、有料制自転車駐車場を導入する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 登録制自転車置場等は、道路上の暫定的自転車置場である点で、有料制自転車駐車場に比較して環境及び整備面は劣るが、駅周辺の放置自転車の抑止に役立っている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 放置自転車の撤去、放置防止啓発活動及び自転車駐車場附置義務等の施策と併せて放置自転車を削減していく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 平成16年度の登録制置場等の運営には、1台あたり12,505円の費用を要しているが、利用者からは登録制置場等の登録手数料として4,000円を徴収している。利用者の負担割合はコストに対して低いが、他区・市との均衡や、歩行者から道路使用料を徴収することができない事情を考慮するとやむを得ない状況である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 事業経費の大部分は置場整理委託料(16年度約1,400万円)である。これは、置場の整理員の賃金である。利用者に対する案内や置場の清掃等を行い、安全で利用しやすい環境を作るためには整理員は必要不可欠である。最小限のコストに抑えるため、朝夕の混雑時のみの配置としている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由: 登録制置場等の登録審査は、個人情報扱う。個人情報の保護のために、区が行うことが適当である。また、有料制自転車駐車場の整備に伴い廃止することを予定している事業であるため、新たな協働にはなじまない。 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在、登録制置場は6駅(上井草、西永福、高井戸、富士見ヶ丘、代田橋、八幡山)に設置している。有料制自転車駐車場に適した用地や施設の確保ができれば、登録制自転車置場等に替わるものとして、有料制自転車駐車場に移行する予定である。引き続き有料制自転車駐車場の用地確保等に努める。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 駅周辺で有料制自転車駐車場に適した用地を確保することが困難である。鉄道事業者等の協力を求めていく。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 富士見ヶ丘駅について、登録制自転車置場から有料制自転車駐車場に移行する予定である。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		有料制駐車場運営			整理番号	578	枝番号			
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3556	昨年度整理番号	594	
係名				自転車対策係			上位施策名		No	
予算事業名				自転車駐車場等維持運営		コード	56250	自転車問題の解決		7
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		6 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区立自転車駐車場条例 (3) 杉並区立自転車駐車場条例施行規則			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				(財) 自転車駐車場整備センターと(社) 杉並区シルバー人材センターに委託して有料制自転車駐車場を運営している。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 誰でも利用できる有料制自転車駐車場に自転車を収容し、放置自転車を防止する。			
活動指標名(式)				(1) 収容可能台数 (2) 自転車駐車場利用率(平日の晴天日における年間駐車台数÷収容可能台数)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 自転車放置率(置場外自転車台数÷駅乗入れ自転車台数(有料制自転車駐車場の設置駅)) (2)				
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		21,046	24,991	25,975	25,975	26,199			
	活動指標(2)		70.6	75.0		75.8		80.0	94.8	
	成果指標(1)		29.86	22.76		20.16				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	486,696	488,323	561,146	545,145	578,138	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 駐車場箇所数 31箇所13駅(10年度末) 32箇所14駅(11年度末) 32箇所14駅(12年度末) 32箇所14駅(13年度末) 33箇所14駅(14年度末) 33箇所14駅(15年度末) 37箇所15駅(16年度末)	
	(内)委託費		千円	248,452	245,162	302,770	294,618	321,703		
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.42	1.25	1.40	1.56	1.40		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	12,898	11,243	12,740	14,196	12,740		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	499,594	499,566	573,886	559,341	590,878		
	単位あたりコスト ÷		円	23,738	19,990	22,094	21,534	22,553		
	財源	受益者負担分		千円	408,058	431,704	518,808	556,718		569,521
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	408,058	431,704	518,808	556,718		569,521
差引:一般財源 -		千円	91,536	67,862	55,078	2,623	21,357			
受益者負担比率 ÷		%	81.7	86.4	90.4	99.5	96.4			
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	97.1	荻窪西第二自転車駐車場、荻窪北第三自転車駐車場を新規開設し、計画台数を確保した。また、競争入札の結果、委託料を削減した。		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・荻窪北口では計画どおり2箇所の自転車駐車場を新規開設した。新規開設に合わせて街頭指導と集中撤去を行った結果、放置台数削減の効果がみられた。また、JR他2箇所の駅では鉄道事業者の協力義務としての駐輪場設置計画が発表された。しかしながら、乗入れ台数を全て収容するにはまだ施設規模が不足している状況であり、さらに増設が必要である。 ・自転車駐車場の利用率は、平日平均で73.3%、平日(晴天日のみ)平均で75.8%まで上昇した。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、13年度には29,022台、14年度は29,380台、15年度は29,660台、16年度は29,689台である。</p> <p>また、放置自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成8年度には6,181台まで減少、その後上昇に転じたが、平成13年度には9,023台、平成14年度には8,485台、15年度は7,062台、16年度は5,982台と再度減少傾向にある。</p>
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>・定期利用の空き待ち期間が長い。・満車のため1日利用ができない日が多い。・管理、サービスの質を向上すべき。・駐輪場が混雑し、自転車の出し入れがしにくい。・一台あたりの駐輪スペースが狭すぎる。・防犯対策を強化してほしい。</p>
	今後の予測	<p>現在15駅に有料制自転車駐輪場を設置している。現在登録制の駅については、用地・施設の確保を進め、有料制自転車駐輪場に移行する。JR線沿線他需用の多い駅では、自転車駐輪場をさらに増設する。既設の自転車駐輪場の維持及び改修が必要となる。</p> <p>効率的で利用者の利便性の高い運営委託方式を比較検討し実施する。</p>
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか	<p>貢献度 大(理由)</p> <p>理由: 自転車を放置させないためには、その置場を確保する必要がある。誰でも利用できる有料制自転車駐輪場を確保することにより、放置自転車防止に貢献している。</p>
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか	<p>ある程度できる()</p> <p>成果向上のための方策</p> <p>事業費・活動量の増加(具体的内容)</p> <p>理由または具体的内容: 14年4月から自転車撤去手数料の値上げと同時に自転車駐輪場使用料を値下げし、それが利用率向上に結びついた。しかし、受益者負担の原則からこれ以上の駐輪場使用料引き下げはできないため、街頭指導や撤去活動をさらに強化し、駐輪場の利用へ誘導することが必要である。</p> <p>また、自転車の乗入れ台数が多いJR中央線沿線などに駐輪場を確保する必要がある。17年度は中野富士見町駅等で駐輪場開設を計画しているが、すべての放置台数を収容するためにはさらに駐輪場を設置する必要がある。</p>
	(3) 受益者負担の見直し余地は	<p>ない(理由)</p> <p>理由または具体的内容: 14年4月から、使用料金を引き下げた(定期は平均6.7%減、一日は150円から100円)。受益者負担比率は低下したが、駐輪場の利用率は平成13年度の62.2%から平成16年度は73.3%に向上しており、当面この料金体系を維持する。</p>
	(4) コストを下げる余地はあるか	<p>ない(理由)</p> <p>施設の増設が必要な状況であり、トータルコストの上昇は避けられない。また、施設の安全管理の要望も高く、コスト上昇要因となる。このため、コストを下げる余地はない。</p>
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか	<p>十分に実現している(^)</p> <p>協働等の相手</p> <p>社団法人・財団法人等公益団体(^)</p> <p>協働等の形態</p> <p>協働[委託](具体的内容)</p> <p>理由または具体的内容: ・37箇所の駐輪場管理運営業務を社団法人及び財団法人に委託している。 ・委託業務内容 (1)自転車駐輪場場内の自転車整理業務 (2)自転車駐輪場の受付・案内業務 (3)使用料金収納業務 (4)自転車駐輪場の巡回及び点検業務 (5)施設清掃業務 (6)その他必要業務 ・区は、事業者の監督指導、利用案内、クレーム対応、施設維持を行う。</p>
	(6) 協働等の相手	<p>協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄</p> <p>協働等の相手</p> <p>社団法人・財団法人等公益団体(^)</p> <p>協働等の形態</p> <p>委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)</p> <p>今後の具体的な取り組み 今後とも委託による。委託の形態は業務委託としている。指定管理者制度については、当面は移行せず、制度の実効性を見きわめてゆく。協働等の相手としては、公益団体に限らず、企業、団体、NPO等を対象とする。施設ごと、地域ごとの特性を勘案して運営委託方法を選択して実施する。地域の放置防止活動が活発なところはNPOなど地域団体との協働により管理を委ねることを検討する。また、利用度の高い大規模施設は競争原理の導入により効率化を図る等を検討する。</p>
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	<p>事業のあり方点検欄を踏まえて記入</p> <p>・17年度は中野富士見町自転車駐輪場の開設を確実に実施する。今後は、現在、登録制の富士見ヶ丘駅、高井戸駅の有料化プランを早期に進め、荻窪駅北口等需要の高い駅に増設することにより収容台数の確保を図る。</p> <p>・放置自転車の休日撤去、夕方撤去の実施による撤去強化及び街頭での放置防止指導の強化により、放置自転車を駐輪場に入れるよう誘導する。</p> <p>・商店街の駐輪場設置の誘導・促進策を検討し実施する。</p>
18年度方針	(2) 理由	<p>新規駐輪場設置のため設置及び管理運営コストが増加する。また、安全確保のための設備面の要望が多い。施設により老朽化による修繕コストが見込まれる。</p>
	(1) 18年度予算見積りの方向性	<p><input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし</p>

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		放置自転車の撤去・返還・処分				整理番号	579	枝番号		
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3554	昨年度整理番号	595	
係名		自転車対策係			上位施策名			No		
予算事業名		自転車駐車場等維持運営		コード	56250	自転車問題の解決			7	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		放置防止禁止区域内に放置された自転車の撤去、集積所への移送、集積所での保管、所有者への返還、引き取りのない自転車の処分（再利用）。							
	活動指標名(式)		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 放置自転車を撤去し、放置自転車のない安全で快適なまちをつくる。							
				成果指標名(式)		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
		(1) 撤去台数		(1) 自転車放置率(置場外自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数(区内全駅周辺))						
		(2) 返還台数		(2) 置場外自転車台数(放置台数)						
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		台	55,545	57,114	60,000	56,671	69,000		
	活動指標(2)		台	33,589	34,841	42,000	33,470	47,000		
	成果指標(1)		%	28.88	23.81		20.15			
	成果指標(2)		台	8,454	7,056		5,982			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	125,579	125,588	126,757	125,104	161,130	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	65,911	68,879	66,967	65,186			
	職員数(常勤 非常勤)		人	5.05	5.32	5.00	5.57	5.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	45,869	47,848	45,500	50,687	45,500		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	171,448	173,436	172,257	175,791	206,630		
	単位あたりコスト ÷		円	3,087	3,037	2,871	3,102	2,995		
	財源	受益者負担分		千円	94,915	99,357	99,240	96,873		128,220
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	94,915	99,357	99,240	96,873		128,220
差引:一般財源 -		千円	76,533	74,079	73,017	78,918	78,410			
受益者負担比率 ÷		%	55.4	57.3	57.6	55.1	62.1			
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	94.5	活動指標(2)の16年度達成率%	79.7	16年度予算執行率%	98.7	西荻窪駅の街頭指導・撤去・返還業務の委託料が300万円程度減じることができた。一方で処分台数の増加や撤去自転車管理システムの変更にもなう費用が増えている。		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		年間約60,000台の台数(都内で上位)を撤去しているが、これだけの撤去活動を行っても駅周辺の放置自転車はなくなっていない。自転車を放置することは悪いことであるという個人の意識がなければ、放置自転車はなくなる。17年度は荻窪駅・高円寺駅で街頭指導・撤去・返還の一体委託を実施する。また、日曜日、夕方の撤去を実施しさらに撤去活動を強化する。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、平成10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、14年度は29,380台、15年度は29,654台、16年度は29,689台である。また、放置自転車台数は平成4年度には1日平均11,946台であったが、平成8年度には6,181台まで減少、その後上昇に転じたが、14年度は8,485台、15年度は7,056台、平成16年度には5,982台、と再度減少傾向にある。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・撤去を頻繁に行ってもらいたい。・土曜日、日曜日、平日夕方も撤去してもらいたい。・撤去ばかりされると買い物もできない。・迷惑自転車は即時撤去してほしい。・短時間しか置いていないのに撤去された。・店舗駐輪場など民有地の放置自転車も撤去してほしい。・店舗前の店主や従業員の自転車は撤去しないでほしい。・他の自転車はそのままなのに、自分の自転車だけ撤去された。
	今後の予測	年間約60,000台の台数(都内で上位)を撤去しているが、これだけの撤去活動を行っても駅周辺の放置自転車はなくなっていない。自転車を放置することは悪いことであるという個人の意識がなければ、放置自転車はなくなる。休日撤去・夕方撤去等により撤去強化を図っていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 駅周辺に放置した自転車は撤去されるという意識を区民に持ってもらうことで、放置自転車の抑制になっている部分はある。しかし、撤去されても自転車の放置が悪いことだという意識がなければ、放置自転車はなくなる。撤去の強化とともに、自転車駐車場の整備、自転車利用のルール・マナーの周知に努めなければならない。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 新たな自転車集積所の確保により、撤去台数の増加をはかる。また、駅ごとに集積所を確保することにより、街頭指導、撤去、返還の一連の作業を委託するかとができ、成果向上
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 返還・処分や放置防止活動等にかかった経費から算出すると、ここ数年は1台当たり4,000円前後であり、今後経費と手数料額との大幅な乖離が生じた時点で見直すことし、当面は現行の手数料額とする。撤去後の盗難届出自転車については手数料の免除の対象外にするよう、すでに見直しを行った。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: 駅ごとの街頭指導から、撤去・返還までを一体的に委託することにより経費の軽減が可能である。条件が整えば順次委託を進める。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 返還業務については集積所8所中7所をシルバー人材センターに、1所は街頭指導・撤去業務とあわせて企業に委託をしている。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 駅ごとの集積所を確保したうえで、街頭指導・撤去・返還までの一体的な業務を委託する。

後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 17年度の目標値(13年度撤去台数の50%減)を目指すため、今以上の撤去活動を行うとともに、放置防止啓発を行う。17年度からは荻窪駅についても委託を開始し、他の主要駅も集積所の確保ができた段階で委託を進める。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・今以上の撤去台数を確保するためには、新たな集積所の確保が必要である。 ・放置防止啓発のために小学校の自転車教室での自転車の「とめ方」の教育や、中学校の体験学習を積極的に受け入れ、この年代からルール・マナーの向上に努める。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 新たな集積所の確保ができない限り費用の増減はない。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		放置防止活動				整理番号	580		枝番号						
担当部課		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3555		昨年度整理番号	596				
係名				自転車対策係				上位施策名		No					
予算事業名				自転車駐車場				コード		56250		自転車問題の解決		7	
事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 60年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則							
駅周辺の自転車放置禁止区域に自転車を乗り入れる利用者															
事務事業の概要	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）										
	放置禁止区域の路面ステッカーの貼付、自転車駐車場案内看板等の設置及びその他看板の修理等。 例年10月に10日間「放置自転車クリーンキャンペーン」を実施。ポスターの掲出、駅でのチラシ・ティッシュペーパー等の配布、放置防止指導、撤去作業を行う。チラシ配布等の啓発活動は、駅周辺の町会、商店会、鉄道業者等と共に行っている。 また、上記キャンペーンのほか、随時、放置防止キャンペーンを実施し、これに合わせて撤去を強化するなど放置自転車の削減を図っている。				駅周辺の放置禁止区域内を、放置自転車がない状態にする。										
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
	(1) 路面ステッカーの貼付・自転車駐車場案内看板設置枚数 (2) クリーンキャンペーン期間中の撤去台数				(1) 自転車放置率(置場外自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数(区内全駅周辺)) (2)										
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
			計画	実績	計画	実績									
指標	活動指標(1)		枚	880	707	550	430	550							
	活動指標(2)		台	2,021	1,679		5,592								
	成果指標(1)		%	28.88	23.79		20.15								
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,686	6,239	7,020	4,789	7,716	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)						
	(内)委託費		千円	6,028	4,228	5,128	3,335	2,869							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.52	0.52	0.50	0.56	0.50							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,723	4,677	4,550	5,096	4,550							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	11,409	10,916	11,570	9,885	12,266							
	単位あたりコスト ÷		円	12,965	15,440	21,036	22,988	22,302							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円		1,438									
		特定財源計 +		千円	0	1,438	0	0				0			
差引:一般財源 -		千円	11,409	9,478	11,570	9,885	12,266								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		78.2		活動指標(2)の16年度達成率%				16年度予算執行率%		68.2			
		放置禁止区域内にある路面ステッカーや看板の維持補修だけでなく、自転車駐車場の場所がわかりにくいという苦情が多いため、自転車駐車場への案内用立て看板を作成した。また、キャンペーン等で使用するのぼり旗などの啓発用品を購入し、歩行者等に自転車の放置防止を訴えた。													
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		荻窪駅北口の自転車駐車場の新規開設に合わせて、自転車放置防止キャンペーンを実施するとともに放置自転車の集中撤去を実施した。 この他にも、延べ12駅で放置防止キャンペーンを実施するとともに撤去の強化を図った。													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、13年度は29,022台、14年度は29,380台、15年度は29,654台、16年度は29,689台である。また、放置自転車台数は、平成4年度には1日平均11,946台であったが8年度には6,181台まで減少した。その後一時上昇に転じたが、平成13年度には9,023台、14年度は8,485台、15年度は7,062台、そして16年度は5,982台と再度減少している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> ・放置禁止区域の表示がわからなかったので自転車を放置した。 ・自転車駐車場の案内が不足している。 ・ロープなどで放置できないようにしてほしい。 ・私道だが放置自転車を撤去してほしい。
	今後の予測	放置禁止区域は随時、見直しが必要である。その際に、案内看板の新たな設置(修正を含む)が必要になる。また、看板への落書き等も多く、維持補修が必要になる。路面ステッカーは劣化により表示が薄くなるため張替えが必要になる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由) ▼	理由:自転車放置禁止区域であることや、自転車を放置することは条例に違反することを周知するためにも、当該事業で行う看板・路面ステッカーの設置、クリーンキャンペーンの実施は有効である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() ▼ 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:キャンペーンの実施回数及びそれに伴う集中撤去回数の増加。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由) ▼	理由または具体的内容:看板や路面ステッカーの設置は、広く区民等に自転車の放置防止を呼びかけるための方策であるため、特定の対象者による受益者負担は考えていない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由) ▼	理由または具体的内容:安価な路面ステッカーにすると破損が激しいことや、看板については相応の強度が必要なため、現状のもので継続しなければならない。全体的なコストの削減にはならないが、一部の立て看板については(記載内容の変更に対応するため)簡易なものに変えることで単価を下げ、その分、数の充実を図っている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) ▼ 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) ▼ 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容) ▼	理由: 理由または具体的内容:放置防止キャンペーンは、駅周辺の地域の方々に広く参加を呼びかけ実施している。参加者としては 商店会や町会・自治会を母体とした放置防止協力員 商店会 町会、自治会 小中学生 鉄道事業者 警察 交通安全協会 区などである。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) ▼ 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容) ▼	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み:自分たちの住む街は自分たちで守るという意識のもと、放置防止協力員の活動を活性化させるために支援制度を設ける。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 看板等の表示については、放置禁止区域や条例内容を示すだけでなく、道路利用者の視点から見てどれだけ迷惑であるかがわかるようにするなど放置防止を訴えるデザインにしていくことや、自転車駐車場への誘導のための看板を増設することで成果が期待できる。ただし、区に隣接する駅を含めて25駅を区域を一度に変更することは困難であるため、年次計画を作成し実施にあたるものとする。 また、それぞれの地域の方や事業者の方々の協力を得て放置防止キャンペーンを実施するなど、自転車の放置を防止するために地域(各駅)での基盤づくりをする。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 新たな看板の設置には、街なみの景観との調和や、道路管理者との協議・承諾が必要である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	17年度の予算の範囲において、18年度も創意工夫しながら事業を実施する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		放置防止指導員・協力員			整理番号	581		枝番号			
担当部課		都市整備部交通対策課			コード	221301		連絡先電話番号	3555		
係名		自転車対策係			上位施策名			No	No		
予算事業名		自転車駐車場等維持運営			コード	56250		自転車問題の解決	7		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		6年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区自転車放置防止協力員要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		民間企業に委託して、自転車の放置を防止するための呼びかけ、自転車駐車場等への案内・誘導のための放置防止指導員を配置している。また、駅周辺の商店会等の会員を放置防止協力員として委嘱し、放置自転車の防止のために活動してもらっている。区は、ボランティア保険料、活動被服、自転車に貼り付ける警告札を負担している。		(3)						
活動指標名(式)		(1) 放置防止指導員延人数		(2) 放置防止協力員活動駅数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自転車利用者が、自転車を放置しないようにする。					
成果指標名(式)		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 自転車放置率(置場外自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数)(区内全駅周辺) (2) 自転車放置率(置場外自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数)(協力員配置駅周辺)							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	2,222	2,312	2,315	2,315	3,170			
	活動指標(2)		駅	10	15	15	15	16			
	成果指標(1)		%	28.88	23.79		20.15				
	成果指標(2)		%	29.17	24.27		17.64				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	25,948	30,678	29,869	29,970	38,131	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	25,433	29,132	29,169	28,975	36,331			
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.80	1.95	1.80	2.01	1.80			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	16,349	17,538	16,380	18,291	16,380			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	42,297	48,216	46,249	48,261	54,511			
	単位あたりコスト ÷		円	19,036	20,855	19,978	20,847	17,196			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	42,297	48,216	46,249	48,261	54,511				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	100.3	・自転車放置防止指導員を雇用し、区内の荻窪、阿佐ヶ谷の各駅に配置した。 ・上記事業のほかに、緊急地域雇用対策事業として高円寺、浜田山の各駅に延4,725名の指導員を配置した。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・西荻窪駅の放置防止指導員を、放置自転車の撤去から返還までの一元的管理を委託する業者に任せることで、経費を削減している。また、平成17年度からは、荻窪駅でも同様の委託をすることで予算を削減している。 ・3月に初めての協力員連絡会を開催し、区内各駅で活動している協力員同士の意見交換を行った。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	駅周辺への自転車乗入れ台数は、平成4年度には1日平均34,942台であったが、10年度には26,799台に減少した。その後上昇に転じ、13年度は29,022台、14年度は29,380台、15年度は29,654台、16年度は29,689台である。また、放置自転車台数は、平成4年度には1日平均11,946台であったが8年度には6,181台まで減少した。その後一時上昇に転じたが、平成13年度には9,023台、14年度は8,485台、15年度は7,062台、そして16年度は5,982台と再度減少している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> ・放置防止指導員を増員して毎日配置してほしい。 ・指導員から高圧的に注意された。 ・指導員はただ立っているだけで何もしていない。 ・地元の住民や事業者が協力しないと放置自転車問題は改善されない。
	今後の予測	放置自転車の街頭指導から撤去、返還(集積所の維持管理)までの業務を一括して委託していく計画を進めていく。一方、協力員は活動する駅の数が増大し、協力員相互の連絡が取れる場を設けることで活性化する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 指導員や協力員に注意されることで、自転車の放置を思いとどまる利用者もいるため、放置自転車をなくすためにはある程度有効な手段である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 指導員の業務を、撤去から返還までの一元化管理に組み込むことで、費用を削減できる。また、地域住民が放置防止協力員となって活動が活発になれば、指導員の配置は少なくて済む。しかし、協力員は商店主や町会役員が主体であるため、一日中活動することは不可能である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 広く駅周辺に自転車を乗入れる利用者を対象にしているため、特定の個人に負担を求めることはできない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: 地域住民が放置防止協力員となって活動することが活発になれば、放置防止指導員の配置は少なくて済む。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 放置防止キャンペーンは、駅周辺の地域の方々に広く参加を呼びかけ実施している。参加者としては 商店会や町会・自治会を母体とした放置防止協力員 商店会 町会、自治会 小中学生 鉄道事業者 警察 交通安全協会 区などである。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 自分たちの住む街は自分たちで守るという意識のもと、放置防止協力員の活動を活性化させるために支援制度を設ける。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・協力員の活動駅を増やしを活性化を図る一方、指導員の業務委託は徐々に街頭指導から撤去・返還の一元管理委託に移行する。 ・協力員の活動を活性化するために、年数回の連絡会を設ける。 ・協力員から提供された情報を有効活用するためのしくみを構築する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・平成17年度以降は緊急雇用対策事業費がなくなるため、指導員を現在と同じだけ配置するには、財源措置が必要である。 ・駐車場が満車状態の駅では、徹底した指導が難しい。自転車駐車場の確保が必要である。 ・撤去から返還までの一元管理を委託するには、駅から遠くないところに集積所を確保する必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	・高円寺駅で街頭指導・撤去・返還の一元管理を行うことができるようにするため、指導員の業務委託費をある程度削減することができる。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民営自転車駐車場育成補助				整理番号	582		枝番号				
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3558		昨年度整理番号	598			
係名		自転車対策係				上位施策名			No				
予算事業名		自転車駐車場等維持運営		コード	56500	自転車問題の解決			7				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区自転車道の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (2) 杉並区民営自転車駐車場育成補助金交付要綱 (3)								
	区の補助を受けて民営自転車駐車場を設置した者・団体		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区の補助を受けて民営自転車駐車場を設置した者・団体に対して、その運営経費の一部を3年間補助する。 自転車駐車場の不足している駅周辺で、民営自転車駐車場の安定的な運営を促す。										
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 助成件数		(1) 自転車駐車場の維持費の削減											
(2) 助成台数		(2)											
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
							計画	実績					
指標	活動指標(1)		件	0	0	1	0	2					
	活動指標(2)		台	0	0	150	0	200					
	成果指標(1)		千円	0	0	4,531	0	6,754					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円			3,110		3,110		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 成果指標(1)の算出方法 区が直営で駐車場を管理運営した場合のコスト 民営駐車場を設置し運営される方への補助金 計算式 -			
	(内)委託費		千円										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.00	0.00	0.30	0.32	0.30					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	2,730	2,912	2,730					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	0	0	5,840	2,912	5,840					
	単位あたりコスト ÷		円			5,840,000		2,920,000					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	0	5,840	2,912	5,840						
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	0.0		活動指標(2)の16年度達成率%	0.0		16年度予算執行率%	0.0				
		高円寺駅南口の民営自転車駐車場建設に対し、補助金の交付を予定していたが、建設計画が撤回されたため未執行となった。											
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		なし。											

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	これまでに補助金を交付した民営自転車駐輪場は、南阿佐ヶ谷の1件のみ。15年度に阿佐ヶ谷駅南口に設置された民営自転車駐輪場は補助金交付の対象とならなかったが、駅から至近距離にあり、駐輪の需要が多い場所のため、利用率が非常に高く、十分採算がとれているとのこと。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	補助金の増額についての需要がある。
	今後の予測	上記の阿佐ヶ谷駅南口のように、立地条件が良く、駐輪の需要が多い場所であれば、十分経営的に成り立つ可能性があるため、今後民間の参入も増えていくと思われる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 区が直営で自転車駐輪場を整備する場合と比べると、初期投資や後年度の維持経費が削減できる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 事前の相談は相当数あるが、制度利用に繋がらないのは、補助金の額が低廉であることが一因と思われる。補助金の増額を図る必要がある。 理由または具体的内容: 民間等が参入しやすい、補助金額・要綱へ制度を変えていく必要がある。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 民営自転車駐輪場は採算がとりにくいため、設置・運営に対しては補助が必要である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 実効性が薄れるので、補助金の金額を下げることはできない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 民営自転車駐輪場については、それぞれの駅周辺の放置自転車対策に十分貢献している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: これまでの企業や個人の他に、商店街などとも協働して民営自転車駐輪場の確保に努める。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 民間活力を導入するために今後も民営自転車駐輪場育成補助制度は存続させる。民間の自転車駐輪場建設を促進し、設置者から魅力ある補助制度とするために、補助率の改定や限度額の撤廃等について検討する必要がある。今後は駅周辺だけでなく、商店街における自転車駐輪場についても補助できるような枠組みについても考えていく必要性が生まれている。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 民間が行う駐輪場が経営的に成り立つか否かは、立地条件等が大きな要素を占めるため、駐輪場を建設するか否かは土地所有者の意向に委ねられる。また、区立自転車駐輪場の使用料金を平成14年4月から値下げしたため、民間の参入を阻害している部分もある。 魅力ある補助制度とするために、支援策の充実を図る必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成14年度以前は、相談件数もあまりなかったが、平成15年度末より駐輪場設置計画の相談が増えてきているので、予算の増額を図る必要がある。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自転車等駐車対策協議会				整理番号	583		枝番号						
担当部課		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3555		昨年度整理番号	599				
係名 自転車対策係					上位施策名					No					
予算事業名 自転車駐車場等維持運営					コード	56250		自転車問題の解決			7				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 7年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業										
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等										
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律										
	自転車等駐車対策協議会委員(区民、区議会議員、学識経験者、鉄道事業者、関係行政機関の職員)				(2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 自転車等の駐車対策に関する重要事項を調査審議する。				(3)										
活動指標名(式)					事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)										
(1) 協議会開催回数					自転車等の駐車対策に関する重要事項を調査審議し、自転車対策に関する施策に反映させる。										
(2) 協議会幹事会開催回数					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
					(1) 自転車放置率(置場外自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数(区内全駅周辺))										
					(2) 自転車放置率(置場外自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数(区内全駅周辺))										
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画		目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
							計画	実績							
指標	活動指標(1)		1		1		2		2		2				
	活動指標(2)		0		0		0		0		4				
	成果指標(1)		28.88		23.81				20.15						
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	132		180		392		391		1,322		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円												
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.52	0.52		0.60		0.67		0.60				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,723		4,677		5,460		6,097		5,460		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	4,855		4,857		5,852		6,488		6,782			
	単位あたりコスト ÷		円	4,855,000		4,857,000		2,926,000		3,244,000		3,391,000			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	4,855		4,857		5,852		6,488		6,782				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		100.0		活動指標(2)の16年度達成率%				16年度予算執行率%		99.7			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		自転車対策に関する具体的なテーマを設定し、少人数で議論を深めるために幹事会を設置する。開催回数は、年4回程度とする。													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	本協議会の答申により、平成10年2月に「杉並区自転車利用総合計画」が策定され、主たる目的は達成された。今後は、総合計画の推進、重要事項の調査審議を行っていく。また、鉄道事業者と具体的な協議を進める場として、協議会の重要性が増してきている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし
	今後の予測	駐車対策に限らず、自転車に関する事項全般について諸問題を諮り、意見をいただく。この協議会には鉄道事業者も委員となっているため、鉄道事業者と公式に協議を継続していくためにも、この協議会は存続する。協議会(幹事会を含む)において、より具体的な課題を協議していくことになる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:特に鉄道事業者との公式な意見交換の場として、必要と考える。また、関係者らに幅広い意見を求め、施策を展開していくためには、協議会は必要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:協議会は、自転車対策に関する課題を審議する場であるため、区が自ら成果を向上させるものではないが、協議会の運営方法を改善することにより成果が期待できる。 理由または具体的内容:少人数の幹事会の場で具体的な議論を深めていただくことで、協議会の運営が円滑になる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:協議会は、区長の諮問機関として設置されたものであるため受益者負担は考えない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:協議会の事業費は、主に委員報酬であり、また、従事職員も必要最低限に抑えているため、コストを下げる余地はない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由:自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律に基づく協議会であり、設置主体は区である。 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 駐車対策に限らず、自転車に関する事項全般について諸問題を諮り、意見をいただく。 この協議会には、鉄道事業者も委員となっているため、鉄道事業者の協力を得ていくためにも、この協議会は存続する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 開催回数や事業費については、現状維持とする。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		(仮称)荻窪北第三自転車駐車場建設				整理番号	584		枝番号	
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3558		昨年度整理番号	新規
係名		自転車対策係			上位施策名				No	
予算事業名		自転車駐車場等整備		コード	56500	自転車問題の解決				7
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成 16年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (2) 例 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		平成16年度工事		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自転車の駐車スペースを確保することにより、自転車利用者が放置しない環境を整える。					
	活動指標名(式)		(1) 整備台数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 置場外自転車台数 ÷ 駅乗り入れ自転車台数 (荻窪駅北口周辺) (2)					
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		台			719	700			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		%	28.68%	29.06%		22.37%			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			45,487	44,762	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円			45,402	44,677			
	職員数(常勤 非常勤)		人			0.50	0.53			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	4,550	4,823	0	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 ++		千円	0	0	50,037	49,585	0		
	単位あたりコスト ÷		円			69,592	70,836			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	
差引:一般財源 -		千円	0	0	50,037	49,585	0			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	97.4	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	98.4	計画どおり、工事竣工。		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		なし。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	自転車駐車場需要に変化はない。		
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。		
	今後の予測	今後、引き続き自転車駐車場需要に変化はないと予想される。		
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 自転車駐車場の整備は放置自転車対策に不可欠である。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 放置自転車撤去活動及び放置防止啓発活動との一体的な取り組みが必要である。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 自転車駐車場の整備に関しては、受益者負担の考えはない。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最小限の人員及び予算で執行しているため、コストを下げる余地はない。		
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 区が自転車駐車場の整備主体として工事を企業に発注し、企業が工事を請負い、施工している。		
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み		

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成16年度終了事業。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成16年度終了事業。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		(仮称)荻窪西第二自転車駐車場建設				整理番号	585		枝番号						
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301		連絡先電話番号	3558		昨年度整理番号	新規				
係名				自転車対策係				上位施策名		No					
予算事業名				自転車駐車場等整備				コード		56500		自転車問題の解決		7	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		16年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 例 杉並区自転車等の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 例 杉並区自転車等の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)										
	平成16年度工事				自転車の駐車スペースを確保することにより、自転車利用者が放置しない環境を整える。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 整備台数				(1) 置場外自転車台数 ÷ 駅乗り入れ自転車台数 (荻窪駅北口周辺)											
(2)				(2)											
区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%							
				計画	実績										
指標	活動指標(1)	台			284	284									
	活動指標(2)														
	成果指標(1)	%	28.68%	29.06%		22.37%									
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円			155,353	154,817	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)							
	(内)委託費		千円			155,343	154,807								
	職員数(常勤 非常勤)		人			0.40	0.43								
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	3,640	3,913			0					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0					
	総事業費 ++		千円	0	0	158,993	158,730			0					
	単位あたりコスト ÷		円			559,835	558,908								
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0	0	0			0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	0	158,993	158,730	0								
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0									
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	99.7	計画どおり、工事竣工。							
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		なし。													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	自転車駐車場需要に変化はない。		
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。		
	今後の予測	今後、引き続き自転車駐車場需要に変化はないと予想される。		
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 自転車駐車場の整備は放置自転車対策に不可欠である。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 放置自転車撤去活動及び放置防止啓発活動との一体的な取り組みが必要である。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 自転車駐車場の整備に関しては、受益者負担の考えはない。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最小限の人員及び予算で執行しているため、コストを下げる余地はない。		
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 区が自転車駐車場の整備主体として工事を企業に発注し、企業が工事を請負い、施工している。		
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成16年度終了事業。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成16年度終了事業。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		永福自転車集積所拡張				整理番号	586		枝番号	
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221301	連絡先電話番号	3558		昨年度整理番号	新規
係名		自転車対策係			上位施策名				No	
予算事業名		自転車駐車場等整備		コード	56500	自転車問題の解決				7
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		16年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例 (3) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例施行規則					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		平成16年度工事		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 放置自転車の撤去スペースを確保することにより、放置のない環境を整える。					
	活動指標名(式)		(1) 収容台数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 自転車放置率(置場外自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数(永福自転車集積所撤去対象駅周辺)) (2)					
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		台			778	778			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		%	27.98%	24.11%		18.47%			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			11,925	11,680	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円			11,900	11,655			
	職員数(常勤 非常勤)		人			0.30	0.32			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	2,730	2,912	0	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 ++		千円	0	0	14,655	14,592	0		
	単位あたりコスト ÷		円			18,837	18,756			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円				3,700		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	3,700	0	
差引:一般財源 -		千円	0	0	14,655	10,892	0			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	97.9	計画どおり、工事竣工。		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		なし。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	自転車集積所需要に変化はない。		
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。		
	今後の予測	今後、引き続き自転車駐車場需要に変化はないと予想される。		
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 自転車集積所の整備は放置自転車対策に不可欠である。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 放置自転車撤去活動及び放置防止啓発活動との一体的な取り組みが必要である。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 自転車集積所の整備に関しては、受益者負担の考えはない。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最小限の人員及び予算で執行しているため、コストを下げる余地はない。		
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 区が自転車駐車場の整備主体として工事を企業に発注し、企業が工事を請負い、施工している。		
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成16年度終了事業。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成16年度終了事業。